

ITを活用した金融の高度化に関するワークショップ(第3期)

第5回「ワークスタイル変革」

論点整理

2018年4月17日
日本銀行 金融機構局
金融高度化センター
中山 靖司



Bank of Japan



ワークスタイル変革の目的

①働きやすい環境の整備

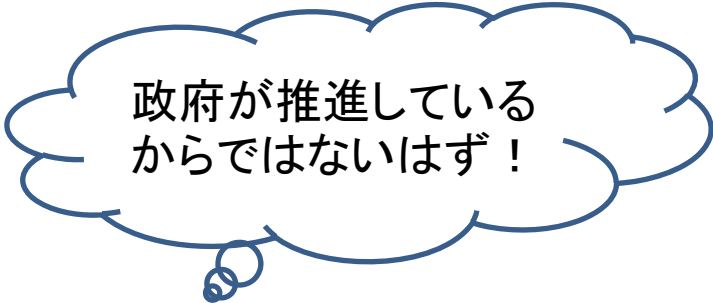
- ・新卒労働者の確保、若年層の離職回避
- ・育児との両立、介護離職の防止

②効率化、生産性向上

- ・長時間労働の是正
- ・創造的な業務へのシフト
- ・ビジネスプロセスの変革

③働きがいの提供

- ・働くことの意義を体感



政府が推進している
からではないはず！

ワークスタイル変革を支えるIT

①テレワーク (在宅勤務、モバイルワーク、サテライトオフィス勤務等)

- ・リモートアクセス、BYOD
- ・仮想技術
- ・テレワークアプリケーション

②コミュニケーション基盤

- ・テレビ会議
- ・ビジネスチャット
- ・グループウェア

③フリーアドレス

- ・モバイルPC
- ・無線LAN

实用レベル？

セキュリティは
大丈夫？

導入したままフォローが
疎かになっていないか？

UX(ユーザー体験)は
考慮されているか？

本ITワークショップのこれまでのテーマはすべて関係

- デジタルレイバー (RPA)
- クラウドの戦略的活用
- データを活用した金融の高度化
- 紙のデジタル化

克服すべき課題の一例

①人事制度(人材、評価制度、勤務形態)

- ・企業の様々な規則や制度が柔軟な働き方に対応できているか？
- ・効果測定(KPIの設定)をどうするか？

②IT環境の整備

- ・ハードウェア・ソフトウェアの導入、活用は十分できているか？
- ・十分に練られたビジネスプロセスの改革を伴っているか？

③組織内部への啓蒙

- ・企業文化が改革を阻んでいないか？ 意識をどう変えるか？
- ・ワークスタイル変革の定着に向けてどうしたらよいのか？

以上